

大府ばやし保存会 30周年記念誌



大府ばやし・小唄保存会30周年記念大会

平成20年2月17日(日) 11:00～
大府市勤労文化会館 もちのきホール

式典

開会のことば
市民憲章唱和
会長あいさつ
感謝状授与
来賓祝辞
祝電披露
閉会のことば

昼食

祝舞

日本民踊研究会会長 可知 豊親

ゲスト出演

ビクターレコード専属 鈴木正夫
キングレコード専属 小杉真貴子
ビクターレコード専属 川崎千恵子

会員発表

神田児童老人福祉センター 花笠クラブ
各班発表
オーストラリア民踊
銭太鼓
三味線・鳴り物

祝賀会

終了

大府市民憲章

わたくしたち大府市民は、限らない市の発展に願いをこめて、
市民憲章を定めます。(昭和46年9月1日制定)

1. 自然を愛し美しい郷土をつくりましょう
1. 教養を深め豊かな心を育てましょう
1. 健康でしあわせな家庭をつくりましょう
1. 仕事に誇りをもちりっぱな社会人になりましょう
1. きまりを守り明るい平和なまちをつくりましょう

ごあいさつ

昭和51年11月に大府ばやし小唄の発表を記念し、同時に保存会を結成して、はや30周年を迎える事ができましたことは偏に関係各位のご尽力の賜と存じ心から感謝申し上げます。

会員の皆さんには国際交流のイベントに参加、つつじまつり、産業文化まつり、各地域の夏まつりの盆踊り参加指導等、郷土の伝統文化を後世に伝えようと皆さん一生懸命頑張っております。

当保存会は毎年研修会をおこなっています。

平成15年大阪府八尾市河内音頭、16年は徳島市阿波踊り、17年南設楽郡鳳来町稲武小唄、18年石川県山中節こいこい節、そして昨年は和歌山県串本節と、交流を図りその成果を定例会で練習し発表会で披露しております。

今後共健康に気をつけて市民の皆様にも親しまれますよう努力して参りたいと存じます。

終わりに、これまで支え育てていただきました方々に深く感謝申し上げますとともに、今後とも一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



大府ばやし・小唄保存会
会長 齋藤 保男

私は、大府ばやし・小唄保存会30周年記念大会を迎えるに当たり、永い年月を支えていただいた市民の皆様始め、会員の皆様の暖かいご助力を心から感謝する次第でございます。

市制30周年記念事業の一環として、50年の歴史ある「大府音頭」の復活が実現できましたことも、郷土の文化と地域の絆を守る大切なことのように思われます。

終戦直後の大府の町並み、農業の繁栄の姿を作詞してくださった、今は亡き「梅村清」先生の“住めば都よ東海道の上下りの汽笛の音に・・・”

現在は電化され、汽笛の音を聞くことはできませんが、八万余の市民の足として東海道線は潤っています。

このように、いにしへの姿こそ、民踊を保存する私達にとって、礎になることでしょう。

現在会員は200余名、ますます元気に唄い、踊り、大府ばやし・大府小唄・大府音頭の保存、継承、普及に努めていく所存でございます。

将来を担う若い皆様、保存会の踊る「姿」を観て一人でも多くの人達が追いかけて来てくださることを願って止みません。



大府ばやし・小唄保存会
30周年記念実行委員長

花井 秋子

祝 辞 30周年記念大会を祝して

大府ばやし・小唄保存会創立30周年、誠におめでとうございます。保存会は、昭和51年に発表された大府ばやし・小唄を守り育てることを目的として、その翌年の4月に結成されました。

以後30年間にわたり、大府市の文化活動のけん引役として、夏まつり、公民館芸能祭、敬老会や産業文化まつりなどでご活躍いただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。

30年間という永い年月の間、唄い踊り続けられたことにより、市民の誰もが耳にし、踊りに触れ、心の奥にあの節が宿っているのではないのでしょうか。

そして多くの市民のみなさまに対して、唄と踊りを通じて、心の豊かさや和みを与え続けていただいておりますことに、深く敬意を表する次第でございます。

30周年という節目を迎えられましても、これからも今まで以上のエネルギーで大府市の文化活動の先頭に立っていただき、大府ばやし・小唄保存会がますます発展されますとともに、会員各位が、ご健康で末永く唄い踊られますことをご祈念申し上げます。



大府市長
久野孝保

大府ばやし・小唄保存会がこのたび30周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

大府ばやし・大府小唄は、大府市民が誰でも口ずさみ親しめる郷土の民踊として、昭和51年に発表されましたが、この唄が代々踊り継がれるようにと翌年に保存会が発足されてから、早いもので30年が経過いたしました。

この間、夏まつりを初め様々な文化・交流事業への参加や、保育園、小中学校での指導など、会員の皆様に昼夜を問わずご尽力いただいた結果、今やすっかり市民の間に定着いたしましたことを深く感謝申し上げます。

大府ばやし・大府小唄には、大府の歴史が語られております。今後も大府市の発展とともに、大府ばやし・小唄が末永く市民の皆さんに愛されますようご祈念申し上げます。

終わりに、本大会のご盛会並びに会員各位のご健勝を心からお祈りいたしまして、お祝いのご挨拶といたします。



30周年記念大会名誉会長
鷹羽 操

大府ばやし・小唄保存会創立30周年を迎え、盛大に記念大会が開催されますことを、心からお祝い申し上げます。

昭和51年に大府ばやし、大府小唄が発表され、翌年保存会が結成されました。

平成12年市制30周年記念事業の一環として大府音頭を再盤し、大府ばやし、大府小唄、大府音頭は郷土民踊としてすっかり定着してまいりました。

また、2005年愛・地球博（あいち万博）会場で大府ばやし、大府小唄、大府音頭を披露し、世界中の方に大府の素晴らしさをアピールして頂きました。

日頃は保育園、小中学校、各種イベント、企業、地域、各種施設、夏まつり等でその普及、指導を積極的に努められ、市民文化の向上に寄与されておられますことに深く敬意を表する次第であります。

今後も地域文化の振興、推進役として、保存会のますますの発展、並びに、会員の皆様の一層のご活躍を祈念いたしまして、お祝いのご挨拶といたします。



30周年記念大会名誉副会長
福島 勢

大府ばやし・小唄保存会 30年のあゆみ

- 昭和51年 11月 大府ばやし・大府小唄の発表会
 52年 4月 大府ばやし・小唄保存会設立総会
 5月 第1回つつじまつり開催 協賛出演
 53年 9月 大府駅々舎竣工記念パレード参加
 グリーン会服制定
 55年 3月 東海市の民謡(踊)保存会と現地交流
 56年 3月 古典豊浜おどり保存会と現地交流
 57年 3月 作手村文化協会員踊部と現地交流
 7月 地域・企業の盆踊り指導及び普及を始める
 58年 3月 東浦音頭・小唄踊り保存会と現地交流
 59年 2月 半田音頭・半田小唄交流
 研修 岐阜坂下町民踊塚と貞照寺参拝
 61年 3月 刈谷市民踊愛好会と現地交流
 8月 名古屋広小路夏まつりパレードに参加
 大府ばやし・小唄保存会用浴衣を制定
 郡上おどりを研修
 日中友好親善歓迎会アトラクションに出演
 62年 9月 大府駅開業100周年記念ビッグサマーフェスティバルに出演
 63年 3月 尾鷲節を研修
 63年 5月 NHK健康フェア大府健康のつどいに出演
 11月 美浜音頭・小唄保存会と交流



大府駅駅舎竣工記念パレード(ホームにて)

- 平成 元年 3月 日間賀島民踊クラブと現地交流
 11月 シニアバドミントン大会歓迎レセプションに出演
 2年 3月 木曾節を研修
 8月 市制20周年記念サマーフェスティバルに出演
 10月 東海市の民謡(踊)保存会10周年記念に招待出演
 3年 2月 知多小唄・盆唄保存研究会と交流
 3月 大府市芸能祭(勤労文化会館こけら落とし)に出演
 11月 マレーシア・日本文化交流のつどいに出演
 4年 2月 大府ばやし・小唄保存会15周年記念大会実施
 6月 富山県城端にて現地研修
 7月 全日本混合バドミントン選手権大会アトラクションに出演
 10月 知多5市5町郵便局おいでんまつりに参加
 5年 4月 大府ばやし・小唄保存会会員グループ発表会
 6月 富山県五箇山にて現地研修
 6年 4月 大府ばやし・小唄保存会会員グループ発表会
 6月 岐阜県高山にて現地研修
 7月 日韓学術文化交流両国芸能交歓会に参加
 9月 わかしやち国体大府市歓迎レセプションに参加
 10月 北山小学校運動会に参加
 11月 愛知県消防大会に参加
 12月 大府市国際交流協会主催クリスマス会に参加
 7年 6月 飯田市伊那節を現地研修



東海市民踊保存会と交流



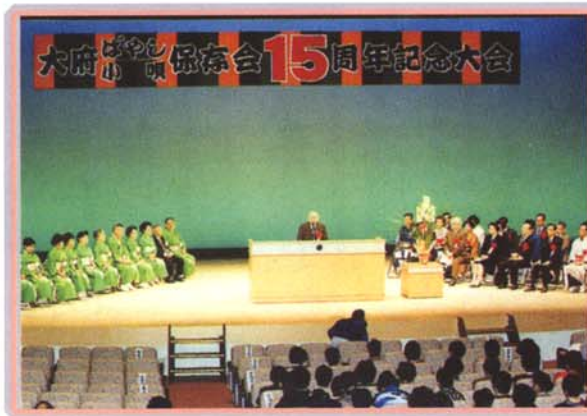
つつじまつり参加

平成 8年 4月 大府ばやし・小唄保存会会員グループ発表会
 6月 中津川民踊保存会と現地研修
 11月 ポートフィリップ市と姉妹都市提携の調印式に参加

9年 2月 大府ばやし・小唄保存会20周年記念大会実施
 4月 つつじまつり参加
 市民ホールお別れ会(ありがとう市民ホール感謝の総踊り)
 5月 ポートフィリップ市来訪歓迎レセプション
 6月 岐阜県古川ぜんぜの子現地研修
 10月 大府市産業文化まつり参加
 11月 大府市老人連合会スポーツ大会参加
 12月 ダイヤモンド婚、金婚を祝う会アトラクション出演



保育園指導



大府ばやし・小唄保存会15周年記念大会



20周年記念大会

10年 6月 静岡県焼津市 チャッキリ節研修
 7月 大府市老人クラブ連合交通安全決起大会アトラクション出演
 8月 大府夏まつりパレード並びに盆踊り参加
 横根「長福会」ディパーク大府盆踊り参加

11年 6月 篠山市デカンショ節研修
 7月 交通安全街頭指導啓発活動に協力
 8月 横根ディサービス慰問(2日間)
 大府消防防災訓練参加(大府小学校校庭)
 10月 神田小学校運動会参加
 11月 静岡寿民踊(来訪)交流会
 (市民体育館にて)



25周年記念大会



総会

平成17年 2月 愛知県公民館連合東尾張支部研究発表会アトラクション(銭太鼓)出演
 4月 あいち万博おまつり広場にて出演(帰路名古屋城見学)
 6月 保存会交流研修旅行 南設楽郡鳳来町 稲武小唄
 7月 保健センターいきいき教室 民踊指導
 8月 あいち万博 大府市の日おまつり広場出演

平成18年 6月 保存会交流研修旅行 石川県山中節
 9月 大府市敬老会アトラクション出演

平成19年 3月 ルミナス大府より感謝状授与
 6月 保存会交流研修旅行 和歌山県正調串本節
 9月 第16回全国ボランティアフェスティバル美浜アトラクション出演
 11月 福祉・健康フェア出演
 社会福祉協議会表彰状授与
 12月 交通安全啓発運動協力



山中節研修風景



ルミナス大府より
感謝状授与



老人スポーツ大会



福祉・健康フェア



NHK「おーい、ニッポン(愛知県特集)」テレビ出演

◇毎年続けて実施している事業◇

- 4月 総会
つつじまつり
- 6月 民踊講習会に参加
- 7月～8月 各地域・企業の盆踊りに指導並びに参加
- 10月 大府市産業文化まつり参加
- 11月 大府市老連スポーツ大会に参加
- 12月 金婚・ダイヤモンド婚を祝う会に参加出演

早めの点灯 事故防ぐミソ
 JR駅 大府ばやし保存会PR

大府ばやし・小唄保存会は、交通安全を第一とし、早めの点灯を呼び掛ける「ついでに点灯」を、約百五十人にバツ「ついでに点灯」を、ク入りのみそを手渡し、JR大府駅で展開、東隣、共催の東海路・榊原光、客にのみそを配った。同会が三十四年を迎えた記念に、現在実施中の「ついでに点灯」を、華やかで県民運動を盛り上げたい。県民三千人が、緑の「ついでに点灯」を、北海道と事故死者数ワーストを誇るという悲しい事態にある。日ごか学校や会場の入り口に立ち、「ついでに点灯」を、早に一日が替わるのが早を」と協力を求めた。

早めの点灯を呼び掛け、みそを配る員「JR大府駅で」

2007年12月4日 中日新聞より

公民館主催の講習会等で大府ばやし・小唄・音頭の指導
 保育園、小・中学校で大府ばやし・小唄・音頭の指導
 各老人ホームの慰問並びに盆踊り参加
 神田児童老人福祉センターの花笠クラブに大府ばやし・小唄・音頭、
 その他の民踊指導



大府夏まつり

大府ばやし・小唄保存会会員紹介

1班(大府地区)

班長 加藤弘子 会員数 35名



昨年度「踊りが大好き」という若々しい新入会員さん達を迎え、一班の風の流れが変わってきました。

春のつつじまつりをはじめ、夏まつり、産業文化まつり、公民館まつりなど、初出演という事で新旧会員が力を合わせて一生懸命に練習しました。そして出演を無事に終えた時の喜び、感動は忘れられません。

熱心にご指導下さいました指導者の方々のおかげと心から感謝申し上げます。これからも和気あいあいで、笑顔の「踊りの輪」を広げていきたいと考えています。



あいち万博に出演



金婚・ダイヤモンド婚に出演

2班(大府地区)

班長 佐藤かな彥 会員数 45名



私達2班は現在45名です。

大府公民館、又は多目的ホールにて定例練習会の他、月1回会員の皆さんの意志に依り自主練習をして色々な行事に参加、楽しく和気あいあいと輪の精神を心に頑張っています。



産業文化まつりに出演



あいち万博に出演

3班 (横根・北崎地区)

班長 相羽ミツエ 会員数 35名



- | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|------|-------|-------|-------|-------|------|-------|------|-------|-------|------|-------|-------|-------|------|
| 坂野明子 | 長尾和子 | 佐藤晴子 | 大島れい子 | 相羽まさ子 | 山口きく子 | 福田智恵 | 黒田多喜子 | 小島元江 | 佐藤順子 | 岡田美和子 | 伊藤伸子 | 小粥美代子 | 戸田千枝子 | 田内ひろよ | 濱嶋泰三 |
| 森部さえ子 | 伊藤文字 | 鈴置美咲子 | 鈴置秋子 | 鈴置よ志枝 | 富田みつ子 | 渡辺泰子 | 小栗花子 | 井上洋子 | 浜島ちかよ | 星野きぬ子 | | | | | |
| 酒井久子 | 近藤道子 | 上田幸代 | 渡辺信子 | 福島勢 | 久野孝保 | 齋藤保男 | 鈴木重子 | 浜島房子 | 相羽ミツエ | 相木百代 | | | | | |

30周年を迎えられたことを本当にうれしいです。私達3班は5つのグループで出来ています。人員の多い少ないはありますが、それは関係なく3班の行事は仲良く合同でやらせていただいています。1年の行事は色々ありますが、つつじまつりに始まり駅前の夏まつり、7・8月は各地盆おどりに参加、10・11月は産業文化まつり、市老連運動会などに参加、その為の練習は大変ですが、たのしい一時です。

次の35周年にむかって更に頑張りたいです。



つつじまつり (秘書広報課提供)



デイパーク大府夏まつりに参加

4班 (共和・長草地区)

班長 小島 律子 会員数 37名



保育園の盆踊りはとても楽しみです。先生方も浴衣を着て待っていただきます。

子供達の悲喜こもごもの顔を見るのが愛くるしい。踊りなれている子、全然知らない子。でも花井先生のお声も高まって来る頃にはもう子供達の踊りも見られる様になって来て一生懸命という所が目に映って来るのが一番楽しみです。この様に心なごむ行事が各地域にも増えて行く事を願っています。



夏まつりに参加



長草保育園盆踊りに参加

5班(吉田・森岡地区)

班長 大平 よ志子 会員数 43名



楽しく集って楽しく踊る。そうすれば皆さんの心も楽しくなる。
 出演する機会があれば何処へでもボランティアでも企業参加でも地域へでも踊れる事に感謝しつつ、
 踊ろう輪になって。
 皆さんたくさん参加してください。



夏まつりに参加



つつじまつりに参加(秘書広報課提供)



大府ばやし・小唄保存会規約



- (名称) 第1条 本会は、大府ばやし・小唄保存会と称する。
- (事務所) 第2条 事務所を大府市役所内に置く。
- (目的) 第3条 郷土の民踊、大府ばやし・大府小唄・大府音頭の普及保存に努め、市民文化の向上に寄与することを目的とする。
- (事業) 第4条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。
(1) 大府ばやし・大府小唄・大府音頭の歌、踊り、地方(唄、三味線、太鼓)銭太鼓の研究、保存。
(2) 市、市教育委員会等の主催事業に参画。
(3) 市民並びに地域グループ等からの要請に対して、積極的な指導を図る。
(4) 会員相互の親睦と融和をはかる。
(5) その他、本会の目的達成に必要な事項。
- (会員) 第5条 本会の会員は、会の目的を達成することに賛同し、所定の会費を納めた者。
- (役員) 第6条 本会に次の役員を置く。
(1) 名誉会長 1名 市長がこの役員につくものとする。
(2) 顧問 若干名
(3) 会長 1名
(4) 副会長 3名
(5) 書記 2名
(6) 会計 2名
(7) 監事 2名
2 本会の発展のため、相談役を置くことができる。
3 役員は、原則として就任時80歳未満とする。ただし、専門的知識、経験等を有する者を選任するに当たっては特別な事情がある場合この限りでない。
- (役員の職務) 第7条 役員は、次のとおりとする。
(1) 会長は、会務を総理する。
(2) 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはそれを代理する。
(3) 書記は、事務を処理する。
(4) 会計は、本会の財務をつかさどる。
(5) 監事は、会計の監査にあたる。
- (役員の選出方法) 第8条 役員は、すべて会員の互選による。
- (役員の任期) 第9条 役員は、2か年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の役員は、前任者の残任期間とする。
- (総会) 第10条 総会は、年1回開くものとする。ただし、必要に応じ臨時総会を開くことができる。
- (役員会) 第11条 役員会は、必要に応じて開くものとする。
- (会議の成立、決定) 第12条 すべての会議は、2分の1以上の出席をもって成立し、議事は出席者の過半数をもって決する。
- (経費) 第13条 本会の経費は、会費、補助金、その他の収入をもってあてる。
2 会費は、会員1名につき次に掲げるとおりとする。
(1) 入会金 1,000円
(2) 年会費 1,000円
- (会計年度) 第14条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。
- (規約の変更) 第15条 本規約は、総会において出席者の4分の3以上の同意を得て変更することができる。
- (その他) 第16条 本規約の施行につき必要な事項の細則は、役員会で検討し総会の承認を得て定めることができる。
- 附 則 この規約は、昭和52年4月17日から施行する。
この規約は、平成元年5月3日から施行する。
この規約は、平成5年4月24日から施行する。
この規約は、平成7年4月29日から施行する。
この規約は、平成12年4月22日から施行する。
この規約は、平成14年4月27日から施行する。
この規約は、平成15年4月19日から施行する。
この規約は、平成17年4月23日から施行する。

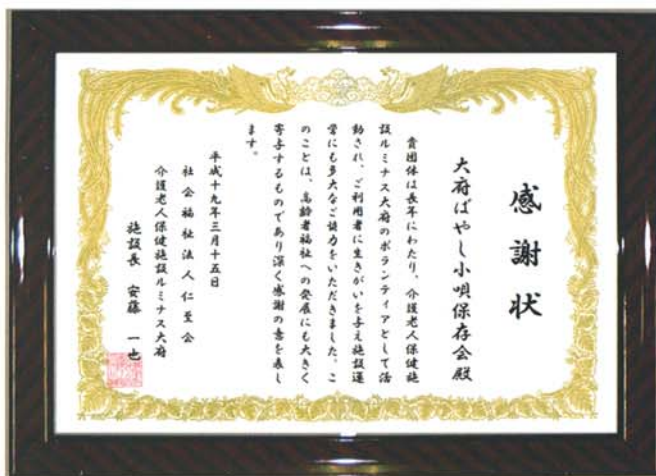
大府ばやし・小唄保存会 役員

名誉会長：久野 孝保	会 計：鈴木 三枝子
会 長：齋藤 保男	会 計：浜島 房子
副 会 長：花井 秋子	監 事：浅田 愛子
副 会 長：富田 建	監 事：山田 徳男
副 会 長：浅田 好弘	顧 問：鷹羽 操
書 記：山崎 照子	顧 問：福島 努
書 記：横山 みきよ	相 談 役：花井 勝美

大府ばやし・小唄保存会30周年実行委員名簿

大会名誉会長：鷹羽 操	編 集 委 員：齋藤 保男・花井 秋子・富田 建
大会名誉副会長：福島 努	浅田 好弘・山崎 照子・横山 みきよ
大会 会 長：齋藤 保男	鈴木 三枝子・浜島 房子・山田 徳男
実行委員長：花井 秋子	加藤 弘子・佐藤 かな彥・相羽 ミツエ
実行副委員長：富田 建・浅田 好弘	小島 律子・大平よ志子
総務委員：山崎 照子・横山 みきよ	委 員：永田 章代・齋藤 正幸・三ツ矢 靖子
会 計：鈴木 三枝子・浜島 房子	鈴置 八恵子・宮脇 登喜江・深谷 とき彥
大平 よ志子	齋藤 重子・久野 喜久子・鈴木 重子
監 事：浅田 愛子・山田 徳男	渡辺 信子・相木 百代・山口 きく子
委 員：加藤 弘子・佐藤 かな彥	森部 さえ子・田中 タキ子・新美 初枝
相羽 ミツエ・小島 律子	平出 准一・富田 美枝子・小木曾 賀子
窓 口：市役所文化国際課	浅沼 順子・竹内 千恵子・湯川 美弥子
	高雄 ミチ子

指 導 者：花井 秋子・山崎 照子・鈴木 重子・三ツ矢 靖子
平出 准一・浅沼 順子・高雄 ミチ子・坂野 明子



◇ 編集後記 ◇

30年にわたる活動記録を一冊の記念誌に掲載するにあたり、私達編集委員は時にはタイムスリップし、若かりし頃の自分との再会に感動したり、設立当初の苦勞ばなし、研修旅行で指導頂いた民踊をおさらいしたり、多忙な方達ばかりですが、何度も編集会議を開き、また、多くの方々のご支援をいただき、無事、完成をすることができました。深く感謝申し上げます。

年号も昭和から平成へと変わり時代は大きく変化しましたが、郷土の民踊である大府ばやし・小唄・音頭の普及、保存に今後も努めて参りたいと思っております。

この記念誌に大府市長久野孝保様、顧問で名誉市民である鷹羽操様、顧問で名誉市民である福島努様より、ご祝辞をいただき、巻頭を飾ることが出来ましたことを、厚くお礼申し上げます。

佐藤のぼる作詞／井川裕多加作曲／小沢直与志編曲

大府ばやし

振付監修 島田豊年
振付 島田豊淑
鈴木正夫
小杉真貴子

一、一度いりやーせ 尾張の大府

春の桃山 桜山

人の情けもくく 七重に八重に
咲いてうれしい 花の町

二、飲んで唄って どぶろく祭り

いとしあの娘も 紅のほ

老いも若きもく 手にとり
踊りやこの世も まるくなる

三、大府むすめは 長根のぶどう

誰が狩るやら 気をもめる

男心をく 情けでとかす
味も器量も 粒ぞろい

四、小鳥さえずる みどりの小道

歌がひろがる 遊歩道

好きな同士のく よりそう影が
水にゆれてる 二つ池

五、秋にや稲穂に 黄金が実る

めぐみ豊かな おらが町

古き文化とく 歴史が薫る
大府明日へ 伸びる町

安宅弥平作詞／井川裕多加作曲／小沢直与志編曲

大府小唄

振付監修 島田豊年
振付 島田豊辰
小杉真貴子

一、むかし大府の 石ヶ瀬川の

恋の螢の 火のような

あなたの息が 耳元に
いまでもほてって ならないの

ほんと ほんとよ 愛してね

二、恋の桃山 あの灯のあたり

あなた待つ夜は この胸に

せつなくかかる 天の川
いまもうずいて ならないの

きつときつとよ また来てね

三、長根ぶどうの 色香のように

ほんのり甘い 紅の露

あなたがくれた しあわせに
いまでもとりに させてるの

そうよそうなの 好きなのよ

梅村清作詞／小股久作曲／川崎瀧雄編曲

大府音頭

振付監修 可知豊親
振付 佐野豊麗
川崎千恵子

一、住めば都よ 東海道の

上り下りの 汽笛の音に

明ける大府は 知多の大府は
住みよい居よい

アーソレソレ

ほんにネ ほんに住みよい
トコセ 暮らしよい

二、もとは桃山いま桜山

昔偲んで高台たかみに立てば

木の間まがぐれに はるか南の
衣ヶ浦を

アーソレソレ

船がネ 船がゆくゆく
トコセ 滑るよに

三、さすが名どころ 長草南瓜

梅雨も来ぬのに もう実をつけて

夢を追うよに 咲いた黄色の
花から花へ

アーソレソレ

虫がネ 虫が群れとぶ
トコセ 朝の畑

四、たすきなければ あの娘の胸に

燃えているよな しごきを借りて

やぐら太鼓に たたく太鼓に
手拍子合わせ

アーソレソレ

踊りやネ 踊りや月さえ
トコセ 顔を出す

五、素地は羽二重味さえ吉田

畑の赤土 落さず取らず

葉付大根が 今日也大根が
七貨車 十貨車

アーソレソレ

西へネ 西へ東へ
トコセ 汽車で嫁く